



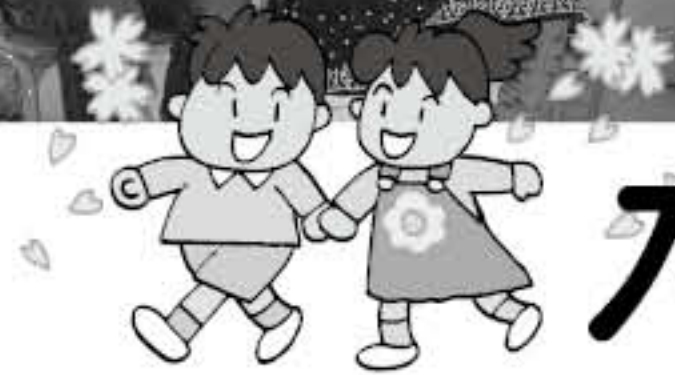
上士幌保育所(4/3)



萩ヶ岡私立保育所(4/4)



糠平小学校(4/9)



入所・入学

町内の各学校と保育所で入学式及び入所式が開催されました。(※萩ヶ岡私立保育所は、私設に変わって初めての入所式となりました。)

第2回こどもおたのしみステージショー(主催・上士幌町芸術鑑賞会)が、生涯学習センターで開催されました。ギター演奏や歌、皿回し、太鼓などさまざまなショーが披露され、3年振りとなった本町オリジナルの楽しいステージに、観客のみなさんは大喜びでした。

こどもおたのしみステージショー

3月31日

今野講師は5年前の調査と昨年の調査を比較し、喘息は減ったものの鼻炎は増加傾向にあることを報告しました。また女性の喘息の減少幅が男性よりも小さかったことについて、上士幌町の女性の喫煙率が依然高いままであることを要因の一つとして挙げていました。



平成23年度健康づくり講演会がふれあいプラザで開催され、北海道大学呼吸器内科学分野の今野哲講師が、平成23年と平成18年に本町で実施した「気管支

平成23年度健康づくり講演会

3月21日

上士幌自動車工業株式会社が町に軽トラックを寄贈されました

4月3日

「鮭(すし)の味通」は、上士幌すずらん荘で毎年この時期に実施している寿司の提供を行いました。平成3年から20年以上に渡って行なっている取り組みで、普段はおかゆを食べている入居者の方々も、この日はかりは普段味わうことのできない新鮮なネタとプロの握りを堪能し、大満足でした。



すずらん荘へにぎり寿司訪問

4月1日



3・4月 まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☞ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。



長)は、同社が
開業35周年の
節目であり、町
の軽作業車が
老朽化してい
たことから、
軽トラック1
台(三菱・ミニ
キャブトラッ
ク)を町に寄贈
されました。

4月6日

交通安全旗波作戦街頭啓発



上士幌町交
通安全協会と
上士幌町防犯
協会の共催に
よる交通安全
旗波作戦啓発
活動が、国道241
号線沿いで行
われました。
同日より始
まった「春の全
国交通安全運動」にあわせた活動で、この日
は町内各団体のみなさん約50名が、黄色い
旗を掲げて安全運転を促しました。

4月7日

ケン先生とハッピーイースター



欧米の復活祭(イースター)にちなんで
工作やゲームを楽しむ「ケン先生と一緒
にハッピーイースター」が、生涯学習センター
で開催されました。

参加した15名の子どもたちは、ケン先生
と英語でコミュニケーションを取りなが
ら、イースターエッグ作りや卵運びレース
などのレクリエーションを楽しみました。

4月18日

帯広地方法人会上士幌地区会が 町に音響設備を寄贈されました



社団法人帯広
地方法人会上士
幌地区会(事務
局・上士幌町商
工会)はこのほ
ど、ワイヤレス
スピーカーとマ
イクの一式を町
に寄贈されまし
た。これらの音
響設備は今後、
新たに供用が開始された交通公園交流施設
で活用されます。

~地域を変えていく新しい力~ 地域おこし協力隊



内田 裕太(23歳)
社会教育推進員
(教育委員会)

春口 奈緒(30歳)
障がい福祉支援員
(保健福祉課)

※内田さんについては次ページ「地
域おこし協力隊活動報告」をご覧
ください。(春口さんは6月号掲
載予定です。)

役場の新人

4名の職員と2名の地域おこし協力隊が
採用されました。4月2日(月)に行われた
職員研修では、おのおのがTシャツにメッ
セージを記入して決意を新たにしました。



老月 隼士(30歳)
担当課：教育委員会
出身地：上士幌町
この男が来て、上
士幌がより良くなっ
たなと実感して頂け
るよう、一生懸命働
きたいと思います。



松尾 佳世(27歳)
担当課：保健福祉課
出身地：音更町
地域おこし協力隊
時代にお世話になっ
たみなさんに恩返し
できるよう、初心を
忘れず頑張ります。



野原 こずえ(23歳)
担当課：保育課
出身地：帯広市
明るく優しさに溢
れる上士幌町で、子
ども達が笑顔で楽し
く日々を過ごせるよ
う努めていきたいと
思っています。



鎌田 健司(29歳)
担当課：保育課
出身地：士別市
山や湖など自然に
囲まれた素晴らしい
環境の中で、子ども
たちと一緒に過ごせ
ることを楽しみにし
ています。

地域を変えてく新しいカ 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 上士幌町のみなさん、はじめまして!!



記: 社会教育推進員 内田 裕太

4月から地域おこし協力隊・社会教育推進員として働かせていただくことになりました内田裕太です。どうぞよろしくお願い致します。

まだ勤務を始めて間もないことから、今回は私の自己紹介をしたいと思います。

足寄町出身の私は、これまで道立足寄少年自然の家(ネイパルあしよろ)で青少年教育を行っていました。それが縁あって、大好きな熱気球が盛んな上士幌町で働くことになり、大変嬉しく思っています。

まだまだ未熟者でわからないこともたくさんあり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、みなさんにご指導いただきながら地域に貢献していきたいと思っています。そのために、一日でも早く仕事を覚え、上士幌町を深く知り、フットワーク良く町のために頑張っていきたいです。



▲「ケン先生と一緒にハッピーイースター」での活動の様子

役場総合窓口前にキッズコーナーが新設されました



役場総合窓口(1F 町民課)前のスペースにこのほど、キッズコーナーが新設されました。

コーナーには新生児~6ヶ月(8kg以下)までのお子様用ベッドと、6ヶ月から2才頃までのお子様用のサークルが用意されていますので、ご来庁の際にはお気軽にご利用ください。

※保護者の方の目の届く範囲でご利用ください。



上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高

4月9日(月)

入学式

上高に春の陽気とともに77名入学

文責 佐藤一翔

◀新しい高校生活に向け、意気揚々と入場する新入生

4月9日(月)今年も春の陽気とともに、上士幌高校に77名の新入生が入学しました。翌日には対面式も行われ、先輩たちは学校紹介や部活動紹介に一生懸命でした。

新1年の学年主任でA組担任の遠藤先生は、1年生の印象について「明るく元気でこれからの期待する一方、けじめがなくなるのが不安」と、厳しくも笑顔で話してくれました。

これからの学校生活にはさまざまなことがあります。入学後すぐ行われる宿泊研修。クラスの団結が問われる学校祭。辛いことも数多くあります。「少なくとも3年後成長できたと思えるクラスにしたい」と、新入生の今後に期待を掛けていました。

「それぞれの個性が出せるクラス」を目指し頑張るのはB組担任の照井先生です。照井先生は今年、1年生とともに本校に赴任されました。「目標を持って一步一步成長してほしい」と、生徒とともに頑張る姿勢で新たな一歩を踏み出しました。



▲新入生の前で校歌を披露する2・3年生



町民文芸

川柳

フキノトウ初物にしておかず増え
白樺に耳あて命の音を聞く
まさ運びぼくの仕事で汗ながす
仕事する喜び今だ手にできず
ホルスタインぼくのおうちのたからもの
牛舎から飛び出し牛の運動会
連休中家で洗濯閉じこもる
青空にスイスイ泳ぐ鯉のぼり
消費税よりも目を向け被災地へ
名前貼る巾着うれしランドセル
沸点もあった男の語をたたむ

短歌

この北に花の便りは遠くして今朝も凍土をふみしめ歩く
ちちははの手足となりて働きしわが青春も追憶の中
娘夫婦帰り行きたり夕刊を取り入る日あし伸びしを思う
にんがつの日差しあかるくなりぬ洗濯物早く乾きて今日清すがし

白坂桜 齊米鈴 高米小 小 薮
石田 藤森木 木 森松 池 根
い 花 浩 真 誠 博 義 由
さ 子 絵 一 弓 豊 也 樹 美 希 子 守
馨 子 絵 一 弓 豊 也 樹 美 希 子 守
高 石
木 川
慶 裕
子 子

平成24年3月末現在の人口

男 2,493人(先月比±0)
女 2,632人(先月比-11)
計 5,125人(先月比-11)
世帯数 2,332世帯(先月比-1)

寄付

- ▶国際ソロプチミストおとふけは、3月30日に福祉の振興資金として金3万円を寄付されました。
- ▶上士幌自動車工業株式会社は、4月3日に町の軽作業車として三菱ミニキャブトラック1台を寄付されました。
- ▶帯広市の都田一志さんは、4月12日に図書購入資金として金10万円を寄付されました。
- ▶ぬかびら源泉郷の上田文夫さんは、4月12日にアーチ橋の保全資金として金千円を寄付されました。
- ▶社団法人帯広地方法人会上士幌地区会は、4月18日に交通公園交流施設の音響設備としてスピーカー・ワイヤレスマイク一式を寄付されました。

ふるさと納税

- ▶齋藤貴之さん(札幌市、金5万円)▶辻幸子さん(札幌市、金3万円)▶熊切研一さん(東京都、金1万円)▶石橋倫明さん(東京都、金1万円)▶泉圭二さん(大阪府、金2万円)▶櫻井敦子さん(愛知県、金2万円)▶吉田奈央さん(札幌市、金1万円)▶大留剛さん(埼玉県、金2万円)▶佐藤義幸さん(東京都、金1万円)▶安宅順子さん(帯広市、金1万円)

上士幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



紙4月から、また新たなシーズンが始まります。お仕事している方、新学期が始まる児童・生徒のみなさん、そして、われわれ広報担当者も新たな気持ちで町民のみなさんに分かりやすい情報を提供できるよう精進したいと思います。(がんばります・・・A)

紙あれから1年。テレビから流れる当時の映像を家族で見っていました。すべてが理解できていない娘もその惨劇に想うところがあったようで、私の膝の上でテレビを直視していました。紙少なくて1年に一度は、災害に対応すべき家族の行動を確認したいと思っています。(もうすぐ春ですね。元気いっぱい春にしたいです・・・K)

広報.....
がみしほろ 6月号は**5月25日(金)**発行予定